

国語 現代の国語

科目 現代の国語	(必修)	授業時数 2 単位
		履修学年 1・2 学年

目 標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------------	--

●**学習内容**

1 学期	1 0 時間	2 学期	1 5 時間	3 学期	1 0 時間
・なぜ本を読むのか(又吉直樹)	5	・言葉遣いとアイデンティティ (中村桃子)	5	・「生物多様性」はなぜ大事なのか(吉永明弘)	5
・話し方の工夫	5				5
・待遇表現		・情報の探索と選択	5	・スピーチで自分を伝える	
・論理的な表現		・情報源の明示		・相手に伝わる案内をする	
		・水の東西(山崎正和)	5		

教材
教科書:「改訂版 標準 現代の国語」第一 学習社 漢字教材「漢字 BOX」浜島書店 資料集「新国語総合ガイド」啓隆社 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、表現できるように、電子黒板等を有効に活用しながら指導を行う。また、提出物の指導や、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	実社会に必要な国語の知識や技能を理解しているとともに、活用できる技術を身に付けている。	三領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする能力を身に付けている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を身に付けている。
	習得する (わかる)	実社会に必要な国語の知識や技能を理解している。	三領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲(論文・レポートなどの自主的な取組も含む)

単元別 評価規準

水の東西 (山崎正和)

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、個別の情報と一般化された情報との関係や推論の仕方について理解を深め、その知識を活用する技能を身に付けている。 ・ 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 目的や場に応じて情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 自分の立場や考えを明確にして、話の構成や展開を工夫する。 話し言葉の特徴を踏まえて、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 読書の効用について積極的に考え、学習課題に従ってまとめようとしている。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文章の効果的な接続の仕方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書の効用について述べた文章を読み、自分の考えを発表する。 話し言葉の特徴を踏まえ、適切さなどに配慮した表現について理解し、活用する。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。

話し方の工夫

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣い、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的や婉曲的な述べ方について理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、さらに場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って話し合いを進め、使うことができる。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をすることができる。
	習得する (わかる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えることができる。	・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、さらに場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って話し合いを進め、使おうとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。

待遇表現

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用することができる。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考え、話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。	・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使うことができる。
	習得する (わかる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している	・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えることができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりすることができる。	・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。

論理的な表現

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解して、その知識を活用することができる。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にすることを理解し、話の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	・進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合うことができる。
	習得する (わかる)	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にすることを理解している。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えることができる。	・進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。

言葉遣いとアイデンティティ (中村桃子)

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解し、その知識を活用することができる。 正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、その知識を活用することができる。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、その知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫することができる。 「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめることができる。 本文を読んで自分の考えを深め、実社会から求めた題材を用いて検証することができる。 言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し、考えたことを積極的に発表することができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えることができる。 「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 本文を読んで自分の考えを深め、実社会から求めた題材を用いて検証しようとしている。 言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し、考えたことを積極的に発表しようとしている。

情報の探索と選択

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、その知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じ、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 「書くこと」において、目的や意図に応じ、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探することができる。 進んで情報の信頼性や妥当性を確かめ、学習の見通しをもって吟味することができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じ、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 「書くこと」において、目的や意図に応じ、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。 進んで情報の信頼性や妥当性を確かめ、学習の見通しをもって吟味しようとしている。

情報源の明示

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、その知識を活用することができる。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じ、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じ、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。	・進んで引用の目的と方法を理解し、例を踏まえて理解し、その知識を活用することができる。
	習得する (わかる)	・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めることができる。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じ、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じ、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することができる。	・進んで引用の目的と方法を理解し、例を踏まえて理解することができる。

水の東西（山崎正和）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方、・主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、個別の情報と一般化された情報との関係や推論の仕方について理解を深め、その知識を活用する技能を身に付けている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析することができる。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめることができる。
	習得する (わかる)	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方、・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉えることを理解している。	・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。

「生物多様性」はなぜ大事なのか（吉永明弘）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、個別の情報と一般化された情報との関係や推論の仕方について理解を深め、その知識を活用する技能を身に付けている。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文章の効果的な接続の仕方を理解する。 例示や言い換えなどの修辞を理解する。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各段落の役割や関係を把握し、「生物多様性」を守る意義について考える。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。 読み手の理解が得られるように、文章の構成や展開を工夫する。 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、説明の仕方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 書き手の意図を積極的に解釈し、学習課題に沿って説明しようとしている。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性を守る意義について述べた文章を読み、調べたことを整理して、説明資料にまとめる 書き言葉の特徴を踏まえ、適切さに配慮した表現について理解し、活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 種の絶滅や、絶滅危惧種の保護活動について積極的に調べ、わかりやすくまとめようとしている。

スピーチで自分を伝える

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め、その知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考え、話の構成や展開を工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行うことができる。 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話すことができる。 積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価することができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考慮することができる。 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりすることができる。 「話すこと・聞くこと」において、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。

相手に伝わる案内をする

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使うことができる。 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じることができる。 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話すことができる。 積極的に来場者役や評価者を務め、評価の観点に沿って評価することができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解することができる。 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を予想して論理の展開を考えることができる。 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりすることができる。 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じようとしている。 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 積極的に来場者役や評価者を務め、評価の観点に沿って評価しようとしている。

目 標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
-----	--

●学習内容

1 学期	1 0 時間	2 学期	1 5 時間	3 学期	1 0 時間
日本文学編－近現代 ・とんかつ(三浦哲朗)	5	日本文学編－近現代 ・羅生門(芥川龍之介)	10	日本文学編－近現代 ・道程(高村光太郎) ・二十億光年の孤独(谷川俊太郎)	2
日本文学編－古文 ・古文の学習 ・児のそら寝	5	日本文学編－古文 ・高名の木登り	5	日本文学編－古文 ・春はあけぼの ・筒井筒	8

教材

教科書:「改訂版 標準 言語文化」第一学
習社
漢字教材「漢字 BOX」浜島書店
資料集「新国語総合ガイド」啓隆社
自主作成教材(プリント)

授業の進め方

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、表現できるように、電子黒板等を有効に活用しながら指導を行う。また提出物の指導や、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、その知識を活用することができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりし、その知識を活用することができる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつことができる。
	習得する (わかる)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲(論文・レポートなどの自主的な取組も含む)

単元別 評価規準

とんかつ (三浦哲朗)

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用することができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解し、その知識を活用することができる。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解し、その知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えて、その知識を活用することができる。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭から母子の滞在の目的がわかるまでを注意深く読み、構成と展開の工夫について理解し、批評することができる。 ・叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめることができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書くことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭から母子の滞在の目的がわかるまでを注意深く読み、構成と展開の工夫について理解している。 ・叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。

古文入門

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、その知識を活用することができる。 我が国の言語文化の特質について理解し、その知識を活用することができる。 時間の経過などによる文字の変化について理解を深め、その知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつことができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 我が国の言語文化の特質について理解している。 時間の経過などによる文字の変化について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。

児のそら寝

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深め、その知識を活用することができる。 時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めその知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合うことができる。 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり、説明することができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めることができる。 時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。

羅生門（芥川龍之介）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用することができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解し、その知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えることができる。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、下人がどのように判断したか、説明することができる。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめることができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書くことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。

高名の木登り

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深め、その知識を活用することができる。 ・古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深め、その知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ) ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解し、評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各章段の構成・展開や表現の仕方などの特徴を理解し、学習の見通しをもって評価することができる。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合うことができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めることができる。 ・古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各章段の構成・展開や表現の仕方などの特徴を理解し、学習の見通しをもって評価しようとしている。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。

道程（高村光太郎）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解し、その知識を活用することができる。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解し、評価している。	・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解することができる。 ・詩の展開や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ることができる。
	習得する (わかる)	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。	・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・詩の展開や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。

二十億光年の孤独（谷川俊太郎）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解し、その知識を活用することができる。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解し、評価している。	・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解することができる。 ・この詩の発想のおもしろさを積極的に考え、表現に即して説明することができる。
	習得する (わかる)	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。	・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・この詩の発想のおもしろさを積極的に考え、表現に即して説明しようとしている。

春はあけぼの

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深め、その知識を活用することができる。 時間の経過による言葉の変化について理解し、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深め、その知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えて、その知識を活用することができる。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めることができる。 作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合うことができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めることができる。 時間の経過による言葉の変化について理解し、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。 作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。

筒井筒

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深め、その知識を活用することができる。 古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深め、その知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えることができる。 古文読解における助動詞の重要性について理解し、学習の見通しをもって助動詞の意味とはたらきを理解することができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 古文読解における助動詞の重要性について理解し、学習の見通しをもって助動詞の意味とはたらきを理解しようとしている。

国語 現代の国語

科目 現代の国語	(必修)	授業時数 2 単位
		履修学年 1・2 学年

目 標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------------	--

● **学習内容**

1 学期	1 0 時間	2 学期	1 5 時間	3 学期	1 0 時間
理解編	5	理解編	5	理解編	5
・言語としてのピクトグラム (本田弘之)		・ステレオタイプの落とし穴 (原沢伊都夫)		・黄色い花束(黒柳徹子)	
表現編	5	表現編	5	表現編	5
・話し方の基礎レッスン		・身近な製品の取扱説明書を作成する		・生活実態を報告するレポートを書く	
・理想の修学旅行をプレゼンする		理解編			
		・人はなぜ仕事をするのか (内田樹)	5		

教材
教科書:「改訂版 標準 現代の国語」第一 学習社 漢字教材「漢字 BOX」浜島書店 資料集「新国語総合ガイド」啓隆社 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、表現できるように、電子黒板等を有効に活用しながら指導を行う。また、提出物の指導や、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	実社会に必要な国語の知識や技能を理解しているとともに、活用できる技術を身に付けている。	三領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする能力を身に付けている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を身に付けている。
	習得する (わかる)	実社会に必要な国語の知識や技能を理解している。	三領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲(論文・レポートなどの自主的な取組も含む)

単元別 評価規準

言語としてのピクトグラム (本田弘之)

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・言葉には認識や思考を支える働きがあることや文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解し、個別の情報と一般化された情報との関係についての理解を深め、その知識を活用する技能を身に付けている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析することができる。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめることができる。
	習得する (わかる)	・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉えることを理解している。	・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。

理想の修学旅行をプレゼンする

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣い、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的や婉曲的な述べ方について理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し積極的にプレゼンテーションを行うことができる。 ・積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価することができる。
	習得する (わかる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えることができる。	・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。 ・積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価しようとしている。

ステレオタイプの落とし穴（原沢伊都夫）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解し、その知識を活用することができる。 ・正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、その知識を活用することができる。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、その知識を活用することができる。	・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫することができる。 ・「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めることができる。	・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめることができる。 ・本文を読んで自分の考えを深め、「ステレオタイプの落とし穴」に陥らないために必要なことについて実社会から題材を求めて発表することができる。
	習得する (わかる)	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えることができる。 ・「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈することができる。	・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・本文を読んで自分の考えを深め、「ステレオタイプの落とし穴」に陥らないために必要なことについて実社会から題材を求め発表しようとしている。

身近な製品の取扱説明書を作成する

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使うことができる。 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて文章の構成や展開を工夫することができる。 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書くことができる。 書いた説明書を進んで批評しあい、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫することができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使おうとしている。 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて文章の構成や展開を工夫しようとしている。 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書こうとしている。 書いた説明書を進んで批評しあい、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。

人はなぜ仕事をするのか（内田樹）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ敬意と親しさなどに配慮した表現について理解を深め使うことができる。 比喩、例示、言い換えなどについて理解を深め使うことができる。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解し使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉え、その知識を活用することができる。 積極的に話し言葉と書き言葉の特徴を理解し話し言葉を挿入した効果について説明することができる。 本文を読んで働くことに対する考えが深まったかどうかを進んで振り返り、根拠をあげて説明することができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ敬意と親しさなどに配慮した表現について理解を深めることができる。 比喩、例示、言い換えなどについて理解を深めることができる。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解している。 「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉え、その知識を活用しようとしている。 積極的に話し言葉と書き言葉の特徴を理解し話し言葉を挿入した効果について説明しようとしている。 本文を読んで働くことに対する考えが深まったかどうかを進んで振り返り、根拠をあげて説明しようとしている。

黄色い花束（黒柳徹子）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、個別の情報と一般化された情報との関係や推論の仕方について理解を深め、その知識を活用する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに表現の仕方を工夫することができる。 「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに自分の考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えることができる。 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解することができる。 戦争や紛争についての考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書くことができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに表現の仕方を工夫しようとしている。 「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに自分の考えを深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 戦争や紛争についての考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。

・生活実態を報告するレポートを書く

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ敬意と親しさなどに配慮した表現について理解を深め使うことができる。 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、使用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えることや、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書くことができる。 書いた報告文を進んで批評しあい、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫することができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ敬意と親しさなどに配慮した表現について理解を深めることができる。 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えることや、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとしている。 書いた報告文を進んで批評しあい、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。

目 標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
-----	--

●学習内容

1 学期	1 0 時間	2 学期	1 5 時間	3 学期	1 0 時間
漢文学編－漢文入門	5	日本文学編－近現代	8	日本文学編－古文	5
・訓読に親しむ(一)(二)(三)		・夢十夜(夏目漱石)		・奥の細道(松尾芭蕉)	
漢文学編－故事成語	5	漢文学編－漢詩の鑑賞	4	日本文学編－近現代	5
・五十歩百歩		・静夜思		・短歌と俳句	
・矛盾		・春望			
		漢文学編－史伝を読む	3		
		・鶏口牛後			

教材
教科書:「改訂版 標準 言語文化」第一学 習社 漢字教材「漢字 BOX」浜島書店 資料集「新国語総合ガイド」啓隆社 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、表現できるように、電子黒板等を有効に活用しながら指導を行う。また提出物の指導や、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、その知識を活用することができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりし、その知識を活用することができる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつことができる。
	習得する (わかる)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲(論文・レポートなどの自主的な取組も含む)

単元別 評価規準

訓読に親しむ (一) (二) (三)

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めることができる。 	・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。	<ul style="list-style-type: none"> これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身に着けることができる。 日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解できる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めようとしている。 	・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身に着けようとしている。 日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。

故事成語 五十歩百歩・矛盾

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめることができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。

夢十夜（夏目漱石）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用することができる。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解し、その知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えて、その知識を活用することができる。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈することができる 『夢十夜』の他の話を積極的に読み、あらすじをまとめて発表することができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書くことができる。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈しようとしている 『夢十夜』の他の話を積極的に読み、あらすじをまとめて発表しようとしている。

漢詩の鑑賞 静夜思・春望

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の技法とその効果について理解することができる。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、特色について評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しを持って漢詩を鑑賞することができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の技法とその効果について理解しようとしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解しようとしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、特色について評価しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しを持って漢詩を鑑賞しようとしている。

鶏口牛後

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的史伝を読み、戦国時代の遊説家の説得術を解釈することができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用しようとしている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的史伝を読み、戦国時代の遊説家の説得術を解釈しようとしている。

奥の細道

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解できる。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深め、その知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ内容の解釈を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読みこれまでの学習を踏まえて解釈を深めることができる。 俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉えることができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解しようとしている。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解しようとしている。 古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深め、その知識を活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用しようとしている。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ内容の解釈を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読みこれまでの学習を踏まえて解釈を深めようとしている。 俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉えようとしている。

俳句と短歌

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解し、その知識を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 俳句、短歌のそれぞれの形式や表現を進んで理解し、学習の見通しを持って、俳句・短歌文芸に親しむことができる。 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方感じ方を豊かにすることができる。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 俳句、短歌のそれぞれの形式や表現を進んで理解し、学習の見通しを持っている。 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方感じ方を豊かにしようとしている。

国語
古典

科目 古典

(選択)

授業時数 2 単位
履修学年 3 学年

目 標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
-----	--

●学習内容

1 学期	20 時間	2 学期	28 時間	3 学期	22 時間
(説話)		(歴史物語)		漢 文	
宇治拾遺物語	5	大鏡	5	故事・小話	7
(随筆)		(日記文学)			
枕草子	5	土佐日記	5	唐詩	5
徒然草	5	更級日記	5		
方丈記	5	(歌物語)		史記	5
		伊勢物語	4		
		小倉百人一首の世界	1	中国の思想	5
		(作り物語)		(儒家と道家)	
		源氏物語	5		
		(軍記物語)			
		平家物語	3		

教材

東京書籍「新編古典探究」(古探701)
資料集「新国語総合ガイド」啓隆社
自主作成教材(プリント)

授業の進め方

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、古文・漢文を的確に理解し、表現できるように、電子黒板等を有効に活用しながら指導を行う。また、提出物の指導や、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 活用できる (できる)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	習得する (わかる)	生涯にわたり、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことができ、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲(論文・レポートなどの自主的な取組も含む)

単元別 評価規準

宇治拾遺物語

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、説話を正確に読み取る。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深められる。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深められる。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深められる。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げ、深められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わおうとし、学習課題に沿って、説話を正確に読み取ろうとしている。

		<p>国など外国の文化との関係について理解を深められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できる 		
--	--	--	--	--

枕草子

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、説話を正確に読み取る。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深められる。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深められる。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深められる。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められる。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 ・ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げ、深められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わおうとし、学習課題に沿って、説話を正確に読み取ろうとしている。

徒然草

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
-------	-------	-------------	------------

評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで各章段の構成や展開、内容を的確に捉え、学習課題に沿って作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとする。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解できる。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解できる。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できる。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解できる。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで各章段の構成や展開、内容を的確に捉え、学習課題に沿って作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。

方丈記

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度	
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで表現の特色に注意しながら作品の内容を解釈し、学習課題に沿って『方丈記』で描かれる「無常観」について考えようとする。

		<p>など外国の文化との関係について理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 		
習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解できる。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解できる。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できる。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解できる。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで表現の特色に注意しながら作品の内容を解釈し、学習課題に沿って『方丈記』で描かれる「無常観」について考えようとしている。 	

大鏡

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ、今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深める。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴に 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ、今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。

	<ul style="list-style-type: none"> ついて理解できる。 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解できる。 ・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解できる。 ・古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解できる。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価できる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察できる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりできる。 	
--	--	--	--

土佐日記

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規 準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで作品の表現や形式の特徴について理解し，学習課題に沿って作者の意図を読み取ろうとする。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解できる。 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解できる。 ・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解できる。 ・古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えられる。 ・文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価できる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察できる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで作品の表現や形式の特徴について理解し，学習課題に沿って作者の意図を読み取ろうとしている。

		・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できる。	る自分の考えを広げたり深められる。	
--	--	-------------------------------------	-------------------	--

更級日記

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度	
評価規 準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで文学史における日記文学の位置づけについて理解し、学習課題に沿って作者の置かれた境遇や物語に向けられた心情について読み取ろうとする。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解できる。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解できる。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できる。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解できる。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察できる。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで文学史における日記文学の位置づけについて理解し、学習課題に沿って作者の置かれた境遇や物語に向けられた心情について読み取ろうとしている。

伊勢物語

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度	
評価規 準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉え 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に歌物語の特徴について理解し、今までの学習を生かして、登場人物の心情や作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み

		<ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<p>取ろうとする。</p>
習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解できる。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解できる。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できる。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解できる。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に歌物語の特徴について理解し、今までの学習を生かして、登場人物の心情や作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。 	

小倉百人一首の世界

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規 準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで和歌を多面的・多角的な視点から評価し、学習課題に沿って言語文化についての自分の考えを深めようとする。

		<p>解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 	<p>な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	
習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解できる。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解できる。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できる。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解できる。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できる。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉られる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりできる。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで和歌を多面的・多角的な視点から評価し、学習課題に沿って言語文化についての自分の考えを深めようとしている。 	

源氏物語

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規 準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深め 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察する。

		<p>めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 	<p>たりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 	
習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解できる。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解できる。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できる。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解できる。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できる。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察できる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりできる。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。 	

平家物語

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規 準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで軍記物語の表現の特徴について整理・理解しつつ特徴を生かすよう工夫して朗読し、学習課題に沿って描かれた人物像を読み取ろうとする。

		<ul style="list-style-type: none"> 先人のものの見方, 感じ方, 考え方に親しみ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 		
習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し, 古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにできる。 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解できる。 古典の文の成分の順序や照応, 文章の構成や展開の仕方について理解できる。 古典の作品や文章に表れている, 言葉の響きやリズム, 修辞などの表現の特色について理解できる。 古典などを読むことを通して, 我が国の文化の特質や, 我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解できる。 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できる。 先人のものの見方, 感じ方, 考え方に親しみ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確に捉えられる。 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 必要に応じて書き手の考えや目的, 意図を捉えて内容を解釈するとともに, 文章の構成や展開, 表現の特色について評価できる。 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み, その内容の解釈を深め, 作品の価値について考察できる 古典の作品や文章などに表れているものの見方, 感じ方, 考え方を踏まえ, 人間, 社会, 自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで軍記物語の表現の特徴について整理・理解しつつ特徴を生かすよう工夫して朗読し, 学習課題に沿って描かれた人物像を読み取ろうとしている。 	

故事・小話

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規 準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確に捉えている。 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 必要に応じて書き手の考えや目的, 意図を捉えて内容を解釈するとともに, 文章の構成や展開, 表現の特色について評価している。 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み, その内容の解釈を深め, 作品の価値について考察している。 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深めている。 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して, 我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりして 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで漢文の読み方を確認し, 学習課題に沿って, 故事成語の成り立ちとその意義や, 漢文の受容について考える。

			いる。	
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深められる。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解できる。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できる。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めてられる。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察できる。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深められる。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の成り立ちとその意義や、漢文の受容について考えようとしている。

唐詩

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規 準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んでさまざまな唐詩を読み味わい、学習課題に沿って、言語感覚や想像力を豊かにする。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解できる。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典な 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んでさまざまな唐詩を読み味わい、学習課題に沿って、言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。

		<p>の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解できる。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解できる。 	<p>どを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深められる。 	
--	--	--	--	--

史記

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規 準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合える。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解できる。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解できる。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解できる。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察できる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとしている。

中国の思想（儒家と道家）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規 準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の 	<ul style="list-style-type: none"> ・「人間の本性」と「人間の本性が善か、悪か」について、積極的に自分の考えをまとめ、今までの学習を

		<p>を磨き語彙を豊かにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 	<p>表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 	<p>生かして発表しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老子と陶潜が描く理想郷について、積極的に読み取って比較・検討する。
<p>習得する (わかる)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解できる。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できる。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解できる。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えられる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えられる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりできる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりできる。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「人間の本性」と「人間の本性が善か、悪か」について、積極的に自分の考えをまとめ、今までの学習を生かして発表しようとしている。 ・老子と陶潜が描く理想郷について、積極的に読み取って比較・検討しようとしている。

国語 文学国語

科目 文学国語	(必修)	授業時数 3 単位
		履修学年 3 学年

目 標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------------	---

● **学習内容**

1 学期	30 時間	2 学期	45 時間	3 学期	30 時間
・調律師のるみ子さん (いしいしんじ)	5	・夏の花(原民喜) 文学のしるべ	8	・デューク(江國香織) 文学のしるべ	7
・真珠の耳飾りの少女 (原田マハ)	3	・ナイン (井上ひさし)	6	・血であがなったもの(大田昌秀) 文学のしるべ	8
・鼻 (芥川龍之介)	8	・卒業 (魚住直子)	7	・ころ (夏目漱石)	15
・バグダッドの靴磨き (米原真理)	7	・山月記 (中島敦)	12		
・旅する本 (角田光代)	7	・相棒 (内海隆一郎)	6		
		・詩「ころ」(萩原朔太郎)「汚れち まった悲しみに」(中原中也)「永訣の 朝」(宮沢賢治)	6		

教材
教科書:「標準 文学国語」第一学習社 漢字教材「漢字 BOX」浜島書店 資料集「新国語総合ガイド」啓隆社 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、表現できるように、電子黒板等を有効に活用しながら指導を行う。また、提出物の指導や、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を新たにし、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとする。
	習得する (わかる)	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深められる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を新たにしようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲(論文・レポートなどの自主的な取組も含む)

単元別 評価規準

調律師のみ子さん(いしいしんじ)

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「のみ子さん」の気持ちに変化する過程を、彼女の身の上で起こった出来事を通して読み取る。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「のみ子さん」の身に起こった出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取らせる。 ・老人が「のみ子さん」の調律師に求めていたことについて、積極的に自分の考えをまとめて示すことができる。

<p>習得する (わかる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 ・読書の意義と効用を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「るみ子さん」の気持ちが変化する過程を、彼女の身の上で起こった出来事を通して読解できる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深められる。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を習得できる。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「るみ子さん」の身に起こった出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。 ・老人が「るみ子さん」の調律に求めていたことについて、積極的に自分の考えをまとめて示そうとしている。
-----------------------	--	---	---

真珠の耳飾りの少女（原田マハ）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
<p>評価規準 活用できる (できる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェルメールの絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引きつけるための工夫について考える。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・フェルメールの絵画について述べられた対談の文章と比較して、文体の特徴や効果について考察する方法を学ぶ。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの文章を粘り強く読み、学習課題に沿って、それぞれの文体・表現の特徴を理解する。 ・フェルメールやフェルメール作品に対する向き合い方について、二つの文章の筆者間の違いを積極的に説明する。 ・作品に関連した三人の人物について積極的に調べ、文章にまとめる。 	
<p>習得する (わかる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 ・文学的な文章における文体の特徴や 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェルメールの絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引きつけるための工夫について考えられ 	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの文章を粘り強く読み、学習課題に沿って、それぞれの文体・表現の特徴を理解しようとしてい 	

	<p>表現の技法を理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深められる。 ・フェルメールの絵画について述べられた対談の文章と比較して、文体の特徴や効果について考察する方法を習得できる。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりできる。 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェルメールやフェルメール作品に対する向き合い方について、二つの文章の筆者間の違いを積極的に説明しようとしている。 ・作品に関連した三人の人物について積極的に調べ、文章にまとめようとしている。
--	--	--	--

鼻（芥川龍之介）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内供の鼻の変化と心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。 ・内供を取り巻く人々の心理や態度を積極的に読み取ろうとする。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとする。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読解できる。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉 	<ul style="list-style-type: none"> ・内供の鼻の変化と心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。 ・内供を取り巻く人々の心理や態度を積極的に読み取ろうとしている。 ・典拠となった『今昔物語集』の説

		<ul style="list-style-type: none"> 読書の意義と効用を理解できる 	<p>え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深められる。 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を習得できる。 	<p>話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。</p>
--	--	--	---	-------------------------------------

バグダッドの靴磨き（米原真理）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物同士の関係や心情を把握しながら読み、「僕」の発言の背景にあるものを理解する。 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 時系列に沿って登場人物間の関係や心情を粘り強く読み取り、「僕」の発言の背景を理解しようとする。 「僕」が拳銃を買おうとしていることに対する自分の考えを「お客さん」のせりふとして表現を工夫して書こうとする。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 読書の意義と効用を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物同士の関係や心情を把握しながら読み、「僕」の発言の背景にあるものを理解できる。 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶと 	<ul style="list-style-type: none"> 時系列に沿って登場人物間の関係や心情を粘り強く読み取り、「僕」の発言の背景を理解しようとしている。 「僕」が拳銃を買おうとしていることに対する自分の考えを「お客さん」のせりふとして表現を工夫して書こうとしている。

			<ul style="list-style-type: none"> ・もに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深められる。 ・設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深められる。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を習得できる。 	
--	--	--	--	--

旅する本（角田光代）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品全体における「その本」の意味について、各時期の「私」の受け止め方を踏まえて粘り強く読み解こうとする。 ・自分自身の変化を実感させるほどの「もの」との出会いについて、積極的に過去を振り返り、その経験を説明しようとする。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 ・読書の意義と効用を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読解できる。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深められる。 ・作品に関連のある事項について調 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品全体における「その本」の意味について、各時期の「私」の受け止め方を踏まえて粘り強く読み解こうとしている。 ・自分自身の変化を実感させるほどの「もの」との出会いについて、積極的に過去を振り返り、その経験を説明しようとしている。

			べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を習得できる。	
--	--	--	---------------------------------	--

夏の花（原民喜）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「私」の移動とともに場面が変わる文章展開を把握し、各場面における「私」の心情を読み取る。 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説中で「私」が移動した経路と場面展開、そこでの心情について、粘り強く読み取ろうとする。 小説の表現や描写の特徴とその効果について、積極的に理解を深めようとする。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 読書の意義と効用を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 「私」の移動とともに場面が変わる文章展開を把握し、各場面における「私」の心情を読解できる。 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深められる。 設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説中で「私」が移動した経路と場面展開、そこでの心情について、粘り強く読み取ろうとしている。 小説の表現や描写の特徴とその効果について、積極的に理解を深めようとしている。

			表したりする方法を習得できる。	
--	--	--	-----------------	--

ナイン（井上ひさし）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察する。 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとする。 小説における「わたし」の役割や、他の登場人物にとって「わたし」がどのような存在であるかについて、積極的に自分の考えをまとめようとする。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 読書の意義と効用を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察できる。 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深められる。 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を習得できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとしている。 小説における「わたし」の役割や、他の登場人物にとって「わたし」がどのような存在であるかについて、積極的に自分の考えをまとめようとしている。

卒業（魚住直子）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 寿々の仕事に向き合う態度や友人への思いの変化を粘り強く読み取り、「卒業」という題名の意味について、自分の考えをまとめようとする。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・ 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ する。 ・ 寿々をめぐる人間関係について、共感できる表現を積極的に探し、その理由をわかりやすく発表しようとする。
習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 ・ 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 ・ 読書の意義と効用を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考えられる。 ・ 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深められる。 ・ 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法習得できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寿々の仕事に向き合う態度や友人への思いの変化を粘り強く読み取り、「卒業」という題名の意味について、自分の考えをまとめようとしている。 ・ 寿々をめぐる人間関係について、共感できる表現を積極的に探し、その理由をわかりやすく発表しようとしている。 	

山月記（中島敦）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (できる)	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・ 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 ・ 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・ 典拠となった文章と粘り強く読み比べ、主題の違いや作者の工夫をまとめようとする。 ・ 教材全体の構成を段落関係から読み取り、学習課題に沿って表現の

			<ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 	<p>特色や登場人物の役割などを説明しようとする。</p>
習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 ・読書の意義と効用を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深められる。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を習得できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・典拠となった文章と粘り強く読み比べ、主題の違いや作者の工夫をまとめようとしている。 ・教材全体の構成を段落関係から読み取り、学習課題に沿って表現の特色や登場人物の役割などを説明しようとしている。 	

相棒（内海隆一郎）

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を考える。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情と行動の変化を時間の順序に沿って粘り強く読み取り、「相棒」という題名にこめられた意味を考えようとする。 ・最後の場面を積極的に脚本の形に書き換え、印象の違いについて考えようとする。

			べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	
習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 ・読書の意義と効用を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を考えられる。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深められる。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を習得できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情と行動の変化を時間の順序に沿って粘り強く読み取り、「相棒」という題名にこめられた意味を考えようとしている。 ・最後の場面を積極的に脚本の形に書き換え、印象の違いについて考えようとしている。 	

詩「こころ」(萩原朔太郎)

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (できる)	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文語詩に親しみ、多様な隠喩を通して「こころ」を描き出す、イメージの豊かさを味わう。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとする。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとする。
習得する (わかる)	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 ・我が国の言語文化の特質について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文語詩に親しみ、多様な隠喩を通して「こころ」を描き出す、イメージの豊かさを味わうことができる。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。

			品との関係を踏まえて解釈を深められる。	
--	--	--	---------------------	--

詩「汚れちまった悲しみに」(中原中也)

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 我が国の言語文化の特質について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「汚れちまった悲しみに」とは何か、詩中の表現をもとにして考え、詩の内容と韻律を深く味わう。 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとする。 象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとする。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 我が国の言語文化の特質について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「汚れちまった悲しみに」とは何か、詩中の表現をもとにして考え、詩の内容と韻律を深く味わうことができる。 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。

詩「永訣の朝」(宮沢賢治)

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 我が国の言語文化の特質について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 詩の中の自然に描かれ方に注目し、「いもうと」と「わたくし」それぞれの心情を想像しながら味わう。 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶと 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとする。 象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとする。

			<p>もに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。</p>	
習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 ・ 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 ・ 我が国の言語文化の特質について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詩の中の自然に描かれ方に注目し、「いもうと」と「わたくし」それぞれの心情を想像しながら味わうことができる。 ・ 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 ・ 象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。 	

デューク（江國香織）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (できる)	活用できる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・ 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「少年」との交流による「私」の心理の変化と、デュークの死を受け入れるまでの過程を読み取る。 ・ 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・ 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「私」の行動を整理し、「少年」との交流を通して「私」の心情がどう変化しているかを粘り強く捉えようとする。 ・ 主人公の悲しみが表現されている部分を注意深く読み取り、自分なりの悲しみの表現を積極的に考え、発表しようとする。
習得する (わかる)	習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 ・ 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 ・ 読書の意義と効用を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「少年」との交流による「私」の心理の変化と、デュークの死を受け入れるまでの過程を読解できる。 ・ 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察で 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「私」の行動を整理し、「少年」との交流を通して「私」の心情がどう変化しているかを粘り強く捉えようとしている。 ・ 主人公の悲しみが表現されている部分を注意深く読み取り、自分なりの悲しみの表現を積極的に考

			きる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深られる。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を習得できる。	え、発表しようとしている。
--	--	--	--	---------------

血であがなったもの（大田昌秀）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来事の経緯や人物の発言をもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争の体験をどう意味づけるべきか考えるために、出来事の経緯や発言から登場人物の心理を粘り強く読み取ろうとする。 ・「二度と失ってはならないもの」とは何かについて、自分の意見を積極的に文章にまとめようとする。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 ・読書の意義と効用を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来事の経緯や人物の発言をもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考えられる。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 ・作品に表れているものの見方、感じ 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争の体験をどう意味づけるべきか考えるために、出来事の経緯や発言から登場人物の心理を粘り強く読み取ろうとしている。 ・「二度と失ってはならないもの」とは何かについて、自分の意見を積極的に文章にまとめようとしている。

			<p>方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深められる。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を習得できる。 	
--	--	--	---	--

こころ（夏目漱石）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとする。 ・指定された場面を、本文とは異なる視点から書き換える活動に積極的に取り組み、解釈を深めようとする。
	習得する (わかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴について理解できる。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにできる。 ・読書の意義と効用を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむことができる。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察できる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとしている。 ・指定された場面を、本文とは異なる視点から書き換える活動に積極的に取り組み、解釈を深めようとしている。

			<ul style="list-style-type: none">・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を習得できる。	
--	--	--	---	--